



《鬼王復活》

【シナリオスペック】

PC人数：1～5名

脅威ランク：2～5

【選択追加ルール】

スキルルール

書籍版掲載のPC拠所・シナリオ拠所を採用するなら、脅威のランクを1ずつ上昇させて構いません。シナリオ拠所は調子にのった若者、古田とするとよいでしょう。

【ソロ改変】

ソロシナリオに改変する場合は、書籍版掲載のPC人数による行動回数を参照しましょう。

追加ルールは、シナリオ拠所を採用し、シナリオ拠所は古田とし、脅威ランクは2となります。

【今回予告】

暑い夏の日差しに暖められた地面が、夜を通して大気を熱する。

涼を取るため、あるいはスリルを求め、若者たちは肝試しを行っていた。

そこが一体、何を封じている場所かも知らずに……。

【ストーリー】

封印を誤って解かれてしまった鬼神を鎮めるシナリオです。シナリオの都合上、今回の脅威はギャップおじさんと言えども勝ち目の薄い、正真正銘の鬼神です。よってシナリオの目的は脅威の打倒ではなく、災害にも近い鬼神を抑え、鎮め、食い止めるという形になります。

今回、封印が解かれた鬼神は鬼王温羅(きおう・うら)。桃太郎に出てくる鬼が島の総大将、と言えば分りやすいでしょうか。首を切り離し、犬に食わせ、なおも唸りを上げ、土中に埋めてもその唸りは13年も止まなかったという伝説すらある不死身の鬼です。しかし、温羅は神饌を捧げることで鎮まり、吉兆を占う神として祀られるようになった存在です。今の世に出たとして、殺戮などは本意ではありません。だからと言って、何もせずに戻ってはなんとなく拍子抜けです。PCたちは今の世でありながら、吉備津彦命(桃太郎のモデル)と同じく、英雄のようではありませんか。怪力無双で知られた温羅としては『駿比べ』(修行の成果を比べあう。力比べのようなもの)と酒宴。これに満足すれば元居た場所へと帰ろうか、と考えます。そのためには多少、脅しをしなければならぬのが困りもの。そこはそれ、妖術使いとしても鳴らした温羅です。民に恐怖を与え、闇を蓄え、PCたちを今か今かとワクワクと待ちます。

シナリオ拠所を採用するのであれば、異音フェイズで登場する若者2人の内、一人をシナリオ拠所とするとよいでしょう。片方は古田くんといい、もう片方は吉田くんです。非常に紛らわしい名前が特徴です。

【異音フェイズ】

異音フェイズはまず、古田と吉田が肝試しに来ている場面を描写しましょう。

古田「これがなんとかつつー神様を埋めた塚なんだってー」

吉田「なんかクツンぼろいなー。……これ、押したら倒れんじゃね？」

古田「したら、一発倒して写メる？」

吉田「えー……それはまずくね？」

古田「いいじゃんいいじゃん。俺ら程度が倒せるんならさ、いずれ倒れるし」

吉田「で、倒れてます、って報告する感じ？」

古田「それなら平気っしょー」

そして、塚は、崩れた。

それと同時に。

街全体を揺るがすような、唸り声が響いた。

「我が眠りを妨げる者は……誰ぞ？」

この日から、街は唸り声で包まれた。

というところで異音フェイズを区切ると良いでしょう。

シナリオ中、この唸り声は延々と続くものとして扱います。



【脅威データ1】 ランク2～5

名前：鬼王・温羅 出自：人外 性別：男

特技：《交霊術》《超腕力》《超握力》《爪》《牙》《不死》

ランク2：『パターン：クルースニク』『悪臭(指定特技：不死)』

ランク3以上で追加：『※禁呪』

ランク4以上で追加：『※奥義』

ランク5以上で追加：『狂気(指定特技：交霊術)』

補足：怪力無双の鬼の大将です。戦いを好んだという記述はありませんが、怪力無双と知られ、空を飛べただの岩を動かしたのだと逸話のバリエーションが非常に豊富です。唸り声を13年上げたという伝説はありますが、それで誰かを崇り殺したという話は特になく、封印を暴かれても特別誰かを崇るようなことはしません。

狂騒フェイズではPCたちの夢枕に立ち、誘いを行って闇を溜めさせます。これは手加減なしの勝負をするためであり、悪意はありません。とんでもなく迷惑ではあります。

PCが5人いるとき、温羅は塚を蹴り倒した人間を引き渡すよう取引を持ちかけます。これは特別な意味はまったくありません。殺したいわけでもなく、それよりもPC達との験比べの方がよっぽど楽しみです。しかし、何もしないでいけばすっぱかされる可能性もあるため、とりあえずの約束という感覚で提案します。断っても気を悪くすることはありません。

決戦フェイズでは頭に『悪臭』を宣言。指定特技の不死で判定に成功しなければ、あらゆる判定の目標値が+1されます。温羅はPCたちを殺すつもりこそありませんが、闇堕ちに関しては非常に無関心です。そのため、降伏を認めることもせず、無邪気に戦いを続けるでしょう。闇堕ちしたPCが一人でも出れば、その戦いぶりに温羅は感心し、おとなしく封印に戻ると約束します。エンディングは倒された温羅が酒を所望し、PCたちの働きを認め、おとなしく封印に戻ると約束する形になります。



【情報】 ランク 2

項目 1 : 唸り声 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

唸り声の正体は、山に封じられた鬼王・温羅のものだ。

温羅は桃太郎に出てくる鬼の大將とされている存在で鬼神として祀られている。

首だけになっても 13 年唸り続けたという伝説が知られている。

この情報が開示されたのち、鬼王・温羅との面会が可能となる。

項目 2 : 温羅との面会 指定特技 : 交霊術

公開タイミング : 項目 1 開示後

鬼王温羅は PC 達との験比べを所望している。

わかりやすくいえば、力試し、勝負をしたいと考えている。

封印を解かれたことに関しては、若干怒りを覚えているが、それを鎮めるために

【情報】 ランク 3

項目 1 : 唸り声 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

唸り声の正体は、山に封じられた鬼王・温羅のものだ。

温羅は桃太郎に出てくる鬼の大將とされている存在で鬼神として祀られている。

首だけになっても 13 年唸り続けたという伝説が知られている。

項目 2 : 鬼王・温羅 指定特技 : 不死

公開タイミング : 項目 1 開示後

鬼王・温羅が封じられていたのは、山間にある小さな祠だという。

この情報が開示されたのち、鬼王・温羅との面会が可能となる。

項目 3 : 温羅との面会 指定特技 : 交霊術

公開タイミング : 項目 2 開示後

鬼王温羅は PC 達との験比べを所望している。

わかりやすくいえば、力試し、勝負をしたいと考えている。

封印を解かれたことに関しては、若干怒りを覚えているが、それを鎮めるためにも強者との合戦が必要であると考えている。

【情報】 ランク 4

項目 1 : 唸り声 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

唸り声の正体は、山に封じられた鬼王・温羅のものだ。

温羅は桃太郎に出てくる鬼の大將とされている存在で鬼神として祀られている。

首だけになっても 13 年唸り続けたという伝説が知られている。

項目 2 : 逃げ出した若者 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

塚を蹴り倒した古田と吉田はあの日以来、大学を欠席し、家で震えている。

しかし、今のところ命に別状はない。

君達に発見されると涙ながらに異音フェイズであったことを全て白状する。

項目 3 : 鬼王・温羅 指定特技 : 不死

公開タイミング : 項目 1 開示後

鬼王・温羅が封じられていたのは、山間にある小さな祠だという。

この情報が開示されたのち、鬼王・温羅との面会が可能となる。

項目 4 : 温羅との面会 指定特技 : 交霊術

公開タイミング : 項目 3 開示後

鬼王温羅は PC 達との験比べを所望している。

わかりやすくいえば、力試し、勝負をしたいと考えている。

封印を解かれたことに関しては、若干怒りを覚えているが、それを鎮めるためにも強者との合戦が必要であると考えている。

【情報】 ランク 5

項目 1 : 唸り声 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

唸り声の正体は、山に封じられた鬼王・温羅のものだ。

温羅は桃太郎に出てくる鬼の大將とされている存在で鬼神として祀られている。

首だけになっても 13 年唸り続けたという伝説が知られている。

項目 2 : 逃げ出した若者 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

塚を蹴り倒した古田と吉田はあの日以来、大学を欠席し、家で震えている。

しかし、今のところ命に別状はない。

君達に発見されると涙ながらに異音フェイズであったことを全て白状する。

項目 3 : 鬼王・温羅 指定特技 : 不死

公開タイミング : 項目 1 開示後

鬼王・温羅が封じられていたのは、山間にある小さな祠だという。

この情報が開示されたのち、鬼王・温羅との面会が可能となる。

項目 4 : 温羅との面会 指定特技 : 交霊術

公開タイミング : 項目 3 開示後

鬼王温羅は PC 達との験比べを所望している。

わかりやすくいえば、力試し、勝負をしたいと考えている。

封印を解かれたことに関しては、若干怒りを覚えているが、

それを鎮めるためにも強者との合戦が必要であると考えている。

項目 5 : 温羅との取引 指定特技 : 交霊術

公開タイミング : 項目 4 開示後

塚を蹴り倒した張本人を引き渡せば、街全体に響く唸り声を止め、

決戦フェイズでの戦いまで何もせずに待つことを約束する、と温羅は提案する。

人質があれば決戦を避ける道理もなく、学生二人も無関係ではないので気兼ねが無い。

提案通り、張本人を引き渡せば、以降、脅威の行動は決戦までなくなる。

画像はジュエルセイバー**FREE**からお借りしています。

URL : <http://www.jewel-s.jp/>